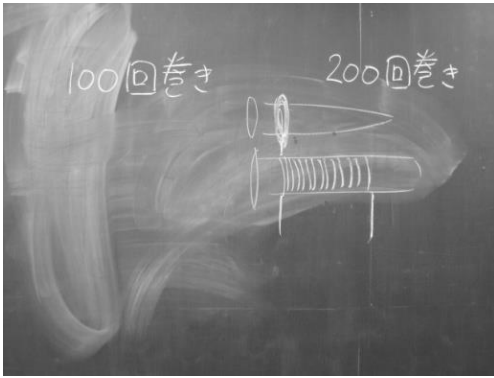
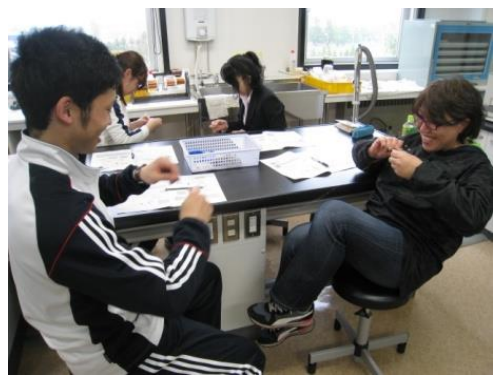
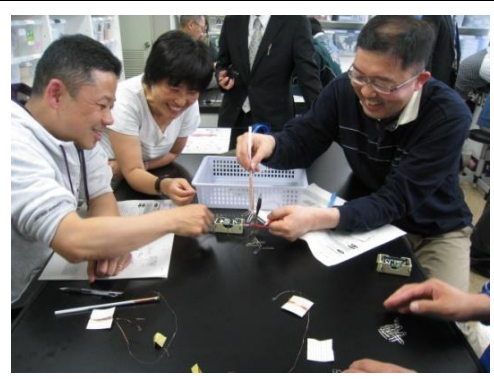



小学校理科教育 実技研修会 終了

テーマ	物理分野の実験の進め方について	
日時	平成 27年 5月 19日 (火)	
会場	北海道立教育研究所附属理科教育センター	
講師	伊藤 新一郎 氏 (北海道立教育研究所 附属理科教育センター)	
参加者	28名	
研修会 の 様子		<p>電磁石の実験を行いました。</p> <p>①エナメル線を一層で鉄芯（鉄釘）にきれいに巻きつける。</p> <p>②エナメル線を一か所に重ねて巻きつける。</p> <p>どちらの方が電磁石が強くなると思いますか？という発問を受け、グループごとに実験を行いました。</p>
		<p>2人ペアになり、エナメル線が絡まないように気をつけて100回巻きコイルと200回巻きコイルを作りました。それぞれ上記の①のパターンと②のパターンを作り、実験に移りました。</p>
		<p>実験をしてみると意外な答えに。答えは、②の方。</p> <p>見本はきれいに、一か所に重ならないで巻きつけてあるのですが、実際は一か所に重ねて密に巻いた方が強くなるのがわかり参加者の先生方は驚いていました。</p> <p>電気には届く距離があり、離れた場所からは力が働きません。きれいに一層に巻くよりも、近くに密に重ねて巻いた方がたくさんの力が届くことがわかりました。</p>
		<p>最後に、若手の先生方で手回し発電機を使って、白熱電球を光らせよう、という実験です。見事に電球は光り、実験は大成功。</p> <p>どの参加者も楽しい雰囲気です。研修会を終えることができました。アンケート結果もとても良い意見が多数あり、次回もぜひ参加したいとの声が多かったです。</p>